

厚岸湾に放流されたマツカワ人工種苗の移動・成長と放流効果

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 渡辺, 研一, 鈴木, 重則, 錦, 昭夫
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014513

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



厚岸湾に放流されたマツカワ人工種苗の移動・成長と放流効果

渡辺研一・鈴木重則・錦 昭夫

北日本の栽培漁業対象種として期待されているマツカワを、厚岸湾に放流した場合の再捕率、移動および成長について検討した。全長 80 mm 以上で放流した群の半数で、再捕率が 10% 程度となった。東に 130 km 以上、西に 170 km まで移動して再捕された放流魚が確認されたが、90% 程度の個体は放流場所である厚岸沿岸域で再捕された。放流魚は放流 1 年後に全長 30 cm、2 年後に 40 cm、3 年後に 50 cm に成長した。以上の再捕率、移動状況および成長の結果から、マツカワは北日本の栽培漁業対象種として極めて有望であることが考えられる。

栽培技研, 28(2), 93-99, 2001